

仕事ってなんだろう？

私たちが生活をするとき、そこには必ず人と人とのつながり合い、助け合いがあります。たとえば、普段の食事について考えてみましょう。家で料理をする人はいるかもしれませんが、食材をすべて自分で育てて収穫しているという人は少ないでしょう。また、遠くの町へ行きたい場合、徒歩でも移動できるかもしれませんが、バスや電車を使えば早く、疲れずに目的地にたどり着けます。バスや電車を運転する仕事、運行する会社があるから、私たちはそれを利用できます。このように、私たちは、何かやりたいことや困ったことがあったときに、自分ではできないこと、労力や時間を割けないことを、他の人がする『仕事』に助けられているのです。こうした、仕事によるネットワークの中で、私たちは生きています。

いろいろな仕事の共通点は何か考えてみると、「どんな仕事も誰かの役に立っている」「誰かにとって必要なもの・ことが社会の中で仕事として存在している」ということがわかります。なぜ私たちは働くのか、その答えの一つは、助け合いでつくられるこの社会の一員になるためです。社会の中で助けられるだけでなく、自分も自分ができることをして誰かの役に立つ、自分の将来を考えて生きていけば、必要とされる場所は誰だって見つかります。

さて、3年生は5月16日から18日の3日間、霧島しごと維新『職場体験学習』を行います。自分が行く事業所は、社会でどのように役立っているのか考えたり、あいさつや働く上でのマナーを学んだりすることももちろんですが、社会のネットワークに少しだけお邪魔して、社会に出ていく自分のイメージをより具体的にすることができるといいなと思います。

学校生活では経験できないせっかくの機会です。この機会に、働くこととは何か、自分は将来どのように生きていくのか、じぶんはどんな仕事があるのか、そのためにはどんな進路選択をすればよいのかをしっかりと考えられる3日間にしましょう。みなさんが少しでも成長できることを期待しています。

参考書籍 『なぜ僕らははたらくのか』池上彰監修

働くことの意味、生活にかかるお金、AI時代の働き方、勉強することの意味・・・とてもためになる一冊です！



上級学校について知ろう

まず、高校は、設置者の違いにより次のように分けられます。

国立	国が設置するもので、国立の大学に付属している高等学校（国立〇〇大学付属〇〇高等学校）になります。鹿児島県にはありません。
公立	地方公共団体が設置するもので、県立〇〇高等学校、市立〇〇高等学校がそれに該当します。
私立	国・地方公共団体以外により設置されているもので、学校法人〇〇学園〇〇高等学校がそれに該当します。建学の精神により、独自の教育を行います。公費補助が少ないため、国立・公立より必要となる学費が一般的に高くなります。

さらに、高校は授業を行う時間帯、方法などの違いにより下記の3つに教育課程が区分されます。

課程の区分	課程の内容
全日制	通常の課程とされているもので、1日に5時間から8時間程度の授業を実施します。修業年限は3年と定められています。
定時制	夜間その他特別の時間帯又は季節において授業を行う課程のことです。主に、昼間仕事に就き、終業後に夜間に学校に来て学習する生徒のために作られた課程なので、基本的には夜間に授業をするもの（夜間部）が多いです。1日に4時間程度の授業を行なう学校が多く、修業年限は各学校が定める3年以上の期間とされています。
通信制	通信による教育を行う課程のことです。修業年限は3年以上と定められており、基本的に自主学習により、一般的にレポートと呼ばれる課題の添削（添削指導）を受けることで学習を進めていきます。

次号からは、学科についても紹介していきます。

進路指導部より

新校舎1階進路コーナーには、各高校から届いた通信を掲示しています。高校卒業後の進学先、就職先や学校行事のようすなど、進学先を決める良い材料となると思いますので、こまめにチェックするようにしましょう。

5月24日・25日には高等学校等説明会が体育館であります。来ていただく高校は事前に配布したプリントに載せています。事前にインターネット等で調べておくと興味を持って話を聞くことができると思います。また、高校への質問もまとめておくとよいと思います。保護者のみなさんも希望者は参加できます。